

らぷらす

NO. **77**
2018.7

巻頭

インタビュー

死へのプロセスを 一緒に歩いていけるパートナー、 それが“夫婦”

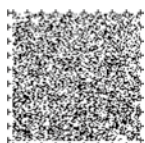
放送作家

鈴木 おさむ さん

【座談会】

「世田谷区多様性を認め合い
男女共同参画と多文化共生を
推進する条例」について語ろう！

三軒茶屋の「らぷらす」を
ご利用ください！



この情報紙の表紙には、目の不自由な方などへの情報提供に役立てられている
音声コードを印刷しています。

「音声コード」は紙に掲載された印刷情報をデジタル情報に変えたシンボルで、約2cm角の中に日本語（漢字かな交じり）で約800文字の情報を記録することができます。専用の活字文書読み上げ装置を使用して音声で内容を聞き取ることができます。「音声コード」の横には、視覚障害の方が触覚によりコードの位置を把握できるよう、切り欠きを入れています。

人気お笑いグループ「森三中」の大島美幸さんの夫であり、放送作家の鈴木おさむさんの。芸能界、テレビ業界という、不規則かつハードな業界で活躍するおふたりが、それぞれの仕事で活躍を続けつつ、子育てライフも満喫することができると、そのパートナーシップの秘訣と、鈴木さんが考える「夫婦の在り方」についてじっくりと伺ってきました！

死へのプロセスを

一緒に歩いていけるパートナー、それが「夫婦」

日々、血の通った会話を欠かさない



鈴木おさむ氏

高校時代に放送作家を志し、19歳で放送作家デビュー。バラエティーを中心に多くのヒット番組の構成を担当。映画・ドラマの脚本や舞台の演出、小説の執筆等さまざまなジャンルで活躍。2002年10月には、交際期間0日で森三中 大島美幸さんと結婚！「いい夫婦の日」パートナー・オブ・ザ・イヤー2009 受賞！！第9回ペアレンティングアワード カップル部門 受賞 父親の三年間の育児記録となる「ママにはねれないパパ」（マガジンハウス）が発売中。

僕が妻(森三中・大島美幸さん)とパートナーシップで大切にしてるのは、彼女が育児と仕事を両立していくうえでのアシストをいかにやってくれるかという点。

森三中が登場したとき、「スゴイ人が出てきたな」と僕は思っていました。芸人としての彼女のことを本当にリスペクトしているから、全力で働いてほしいと思っています。

つきあいや仕事で遅くなったりして、僕は、夜はほとんど育児に参加できません。その代わり、どんなに帰りが遅くなっても、朝は必ず3歳と1歳にちゃんと起きる。子どもを着替えさせたり、「ごはんを食べさせたり。朝の30分って人手があるとなすべしになるじゃないですか。

夫婦で役割分担するというのが、妻の様子をみながら、自分がすべきことをそのときで考えるのが僕のアシストスタイルです。お互いに時間が決まっている仕事ではないので、日々、状況は違いますから。

そのために重要なのが、とにかくお互いに話をすること。

スケジュールの照らし合わせとか子ども情報の共有も含まれるので、業務連絡的な部分もあるけれど、僕自身は、連絡を取り合うことよりも「しゃべること」そのものが大事だと思っています。朝、1分でも5分でも、時間がなくても意識して「しゃべる」。夫婦って、意識していないと案外会話をしなくなりますよね。でも、同じ家に住んでいたって日中は別々のことをしているんだから、会話がなくなると相手の考えていることなんてあつという間にわからなくなってしまう。そうこうして相手への興味がなくなったら、パートナーとしての意味がなくなりますよね。だから、みんな離婚するんです。

日本では、3組に1組の夫婦が離婚しています。でも、離婚してすぐハワリーがかかるから、頭によぎっても実際には離婚しない夫婦も少な

くない。だから、離婚を本気で考えたことのある夫婦って実はもつといるんじゃないかと思っています。

テレビ業界でも多いんですよ、仕事で走り切って、これから第二の人生を歩もうと思ったとたんに奥さんから離婚を切り出される人。熟年離婚が増えていると聞きますが、僕の目の前でもうわ、本当にこうなるんだーという現実が日々繰り返されています。

じゃあ、夫婦であること、パートナーであることの意味って何なのかなどという、僕は「一緒に死んでいく相手」であることだと考えています。

実は最近、僕の父がガンになったのですが、それを当たり前のように介護している母を見ていて、とても納得したんです。夫婦って「一緒に死んでいく関係」なんだって。誰にでも訪れる死の瞬間まで、お互いに相手のことを思いやり合える関係が夫婦なんだなって。

もちろん、育児を協力し合うこと

は当然です。でも、子どもなんてすぐに大きくなるから、「我が子のパパとママ」という関係から「夫婦」にまた戻っていきます。その間に血の通った会話をしなかった夫婦は、「夫婦」である意味を失ったんです。

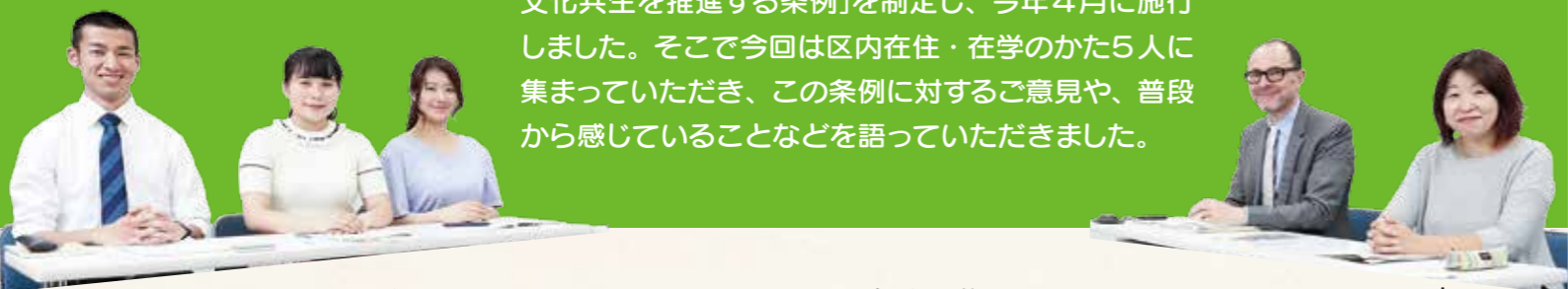
僕は、妻とそういう関係でいたい。「死」に向かうプロセスを一緒に歩む夫婦でいたい。だからこそ、意味のある、血の通った会話をするように心がけているんです。

意味のある会話がどういふものか、ですか？そうですね、僕が大切なと思うのは、ネガティブな感情も共有し合っていることです。生きていくと、そんなに毎日ハッピーなことばかりではない。辛いことや悲しいことも多いですよ。とくに僕は、40代に入ったとたんに親しい仕事関係者が相次いで亡くなるなど、悲しい出来事が増えました。でも、そういった自分の悲しさと、相手の感じ方は違います。僕にとっては超悲しいこと。でも、妻にとっではそうでもない。「残念だったね、悲しいね」と寄り添ってはくれても、絶対同じツケがないですよ。

この温度差は案外ストレスになる

「世田谷区多様性を認め合い 男女共同参画と多文化共生を推進する条例」 について語ろう！

世田谷区では「多様性を認め合い男女共同参画と多文化共生を推進する条例」を制定し、今年4月に施行しました。そこで今回は区内在住・在学のかた5人に集まっていただき、この条例に対するご意見や、普段から感じていることなどを語っていただきました。



——まずこの条例に対する感想や疑問などがあれば、お聞きかせいただけますか。

Mさん コメントはいろいろありますが、苦情があった場合、実際に申し立てられる先があると明確にしたという点では、とても画期的な条例だと思います。

(注)条例では、男女共同参画、多文化共生施策に関する事項について、区長に対し苦情若しくは意見の申立又は相談をすることができるとされています。
Oさん 私は、日本の教育自体がまだまだ多様性を認め合っていないようなところではない気がします。

たとえば、上の子が通っていた高校に心と身体の性が違う子がいました。その子は女の子ですが男子の制服を着ていました。その高校には差別したり偏見を持ったりする生徒は少なかったのですが、条例に書かれているように「世の中には色々な人がいて、みんなで社会をつくっていく」ということを幼少期から学校で教えることもあればいいと思います。

Aさん 私もそう思います。語学などと同じで、やはりいろいろな文化は小学校

めてしまつと、いつの日か、クビになったのに毎朝会社に通勤するふりをする寂しいお父さんを演じなければいけなくなるかもしれません。

自分から話すことが苦手そうな男性の奥さんは、奥さんの方から自分のことを報告したり、話しやすい環境を作ったりすればいいのではない



もちろん、0歳から1歳といういわば動物から人間へと子どもが成長する瞬間をしっかりと見てみたいという気持ちもありました。でも、夫婦で育児もシェアしたいという思いも強かった。協力してくれた周囲の人たちには感謝の気持ちをお返ししたい。やはり、妊娠なり育児なりで妻が休ませてもらうなら、夫だつてその組織に感謝しなければいけないと思うんです。会社員だつて制度が

もちろん、0歳から1歳といういわば動物から人間へと子どもが成長する瞬間をしっかりと見てみたいという気持ちもありました。でも、夫婦で育児もシェアしたいという思いも強かった。協力してくれた周囲の人たちには感謝の気持ちをお返ししたい。やはり、妊娠なり育児なりで妻が休ませてもらうなら、夫だつてその組織に感謝しなければいけないと思うんです。会社員だつて制度が



Oさん(40代女性) 主婦
4人のお子さんを育てながら、小学校のPTA会長を務めた

生とか小さいころから触れていかないと身に付かないように思います。

Hさん アメリカに留学した友人の弟が車イスの生活をしているのですが、新年に大群衆となることで有名なタイムスクエアに行ったとき、周囲の人たちは当たり前のように場所を譲ってくれたそうです。これが日本だと、障害のある人にとつて対応していいの迷ってしまう人がいると思うので、幼いうちからもつと交流できる機会を増やして、「こう接すればいいんだよ」ということを自然に身に付けられるといいと思います。

Sさん 普段学生団体の活動やアルバイトで障害のある人たちや性的マイノリティの人たちと一緒に過ごしていると、やはり周りからの視線を感じて分かってもらえないのかと思うことがあります。彼らは他の人とまったく変わらなないので、そんなに難しくないものかと思えてもつと

でしょうか。

人間、年を取るほど辛いことや悲しいことが増えてくる。そりゃ、確実に死に向かっているわけですから。そんな過程で、悲しいとか寂しい、苦しい、怒っている…そんな感情を伝え合える関係ってとても大事になつていくのではないかと思います。

あるから休んで当たり前ではない。休んでいる間、その仕事は誰かが肩代わりしてくれているんですから。

忙しいですが、今でも家にいられるときは、たとえ短い間でも子どもと一緒に何かをするようにしています。ガチャガチャがたたくある近所のお店に出かけるとか、とくに妻がいなときは、二人だけの絆を深めるチャンスだと思っていますね。

まだ3歳なので、父親一人だけで子どもを連れ出すのはかなり大変ですが、無理をしても楽しみたい。話題のスポットに出かけたり、知り合いに会わせてみたり、とにかく思い出を作っています。過ごした時間に比例して絆が強くなる。だから、やりがいも達成感もすごくあるんです。

のではないのでしょうか。

Oさん あと、この条例の中に「ドメスティック・バイオレンス(DV)」の根絶が入っているんですね。

Mさん DVは大きな問題です。根絶には色々なアプローチが必要なので、男女共同参画からの視点も必要だと思います。

——この条例の中でも重要なキーワードである「男女共同参画」についてどうお考えですか。

Mさん 「男女差別」の解消については、ヨーロッパの方が多少は進んでいるように思いますが、それほど差はないと思います。

他の国と比べ日本が多少とも遅れているのは女性の社会参加です。女性が出産後、職場に復帰しない、できないのは社会全体にとつて非常に残念だと思います。



Mさん(40代男性) フランス人
法律事務所勤務「世田谷区パートナーシップ官職」を行った

育児も子育てもシェアする覚悟

し、そこに距離感を感じて寂しくなつたりもする。でも、だからといって、「どうせ言ってもわからない」「伝えるのをあきらめたらいいじゃない」と思うんです。正直に自分の精神状態や気持ちを伝えるのはすごく大事。感情を完全に共有することは無理かもしれないけれど、伝えたら、相手

一方で、息子が生まれてからは、世の中や周囲に対するありがたさ、感謝の気持ちが増したなと感じます。うちは、妻が「妊娠休業する」世の中に発表してから休みに入りました。これ、とても勇気があることな

んです。育児ならまだしも、妊娠となると終わりが見えない。子どもが出来ない可能性もあるわけです。でも、彼女の番組のスタッフは、ちゃんとレギュラーの席を空けて待っていてくれました。当時、森三中の(村)上さんも育児中で、黒沢さんだけになってしまつ番組も出てきました。けれど、黒沢さんは「わかつた」と言っ

もう少し歩幅を合わせてくれるかもしれない。10のうち2しか共有できていなかったことが6か7くらいになるかもしれないじゃないですか。

男性はとくに、自分の感情を伝えるのが苦手だと思います。でも、「そんなことを家族に話してもしょうがない」と、感情を伝えるのをあきら

て、二人の不在を引き受けてくれた。その覚悟のすごさ、ありがたさといつたりなかつたです。

人気商売ですから、厳しい世界です。これから売りたいと頑張っている若手の中には、「休業なんて言っていないで辞めてほしい」と思った人もいると思う。それが、僕たちの仕事の世界なのに、「待っているよ」と言ってくれる人がいる。これは、子どもを授かつたら、一刻も早く妻を仕事に復帰させてあげなくては、と、僕の中にも使命感が生まれま



Aさん(20代女性) 大学3年生
大学がある区と協力して、男女共同参画に関する冊子の作成を手がけている

ただ日本も欧米も、企業の中では地位が上がるほど女性が少なくなっています。むしろ、タイやシンガポールなどのアジア圏では多くの女性がトップとして活躍していますね。

Sさん そういえば、僕の大学の福祉学部は女子学生が圧倒的に多いんですけど、実際、福祉の現場や大学の先生など、地位の高い立場には男性が多いです。

Oさん 学生の皆さんはあまり美感がないと思いますが、私が働いていたころは「男女共同参画」や「多文化共生」という言葉もない時代で、女性は気を利かせてお茶をいれ、「コーヒーを取るのが当たり前でした。それから考える」と今は男女差別が少なくなっただけだと思います。

Mさん 日本の社会自体が女性にとって不利なつくりになっていきます。たとえば税金の面では、ほとんどの国は夫婦を一つのユニットとして扱うので、お子さんを救えるかもしれないので、「このつくりがあるのよ」と、もっと広く語っていきたいと思います。

——今回の座談会を通じた感想などがあれば聞かせてください。

Sさん 自分が性的マイノリティだと声にして出せない人たちがいるのだとあらためて知って、「人はみな違うのだから、それもよいよね」と言えるくらい広い心がみんなにあればいいのにと。また色々な人たちがいて当たり前という社会がもっと当たり前になればいいと思います。

Aさん 若い人だけじゃなくて、自分の両親とか、もつと上の世代の人たちの考えや意識も少しずつ変えていけたらいいのかなと思います。



Sさん(20代男性) 大学4年生
社会福祉専攻。福祉に関する学生団体の共同代表

で優遇措置があるのですが、日本の税制は、「夫婦としての制度」がほぼありません。

日本の相続税も先進国の中では特異です。他の先進国では夫婦であればどちらか一方が亡くなった場合、全財産が自動的に残っている一方に渡ります。「相続税はないので課税」が発生しないのです。現代の日本では、妻より収入の多い夫が大体先に亡くなるので、日本の税制は女性をより難しい状況に追い込んでいます。

Oさん どうですかね。

また、仕事に関しては、自らが培ったキャリアをもっと認めてくれるようになってほしいと思います。

Hさん 女性が「仕事をしたい、キャリアアップしたい」とき、それが女性だからという理由で叶わないというのは差別だと思いますが、だからといって「女性はみんな働くもの」という社会に変わっていくというのも、どうかなと感じています。

Sさん 僕はまだ自分の結婚や育児をイメージできませんが、パートナーが仕事をしたいというのであれば、その気持ちを尊重したいと思います。

Oさん 女性は仕事も家庭も、男性も仕事も家庭もというのがあるのですが、日本の「相続税」も先進国の中では特異です。他の先進国では夫婦であればどちらか一方が亡くなった場合、全財産が自動的に残っている一方に渡ります。「相続税はないので課税」が発生しないのです。現代の日本では、妻より収入の多い夫が大体先に亡くなるので、日本の税制は女性をより難しい状況に追い込んでいます。

——これから区民のみなさんにとのようにお伝えしていけば条例を役立ててもらえるのか、引き続き検討していきたいと思えます。本日はどうもありがとうございました。

事も家庭もというのがあるのですが、日本の税制は、「夫婦としての制度」がほぼありません。

Mさん 働き方が変わらない限り、難しいのではないのでしょうか。たとえばドイツでは、新人から社長までみんな午後6時に退社します。これなら家庭生活の時間が取れますが、日本はキャリアを考え仕事に時間を取るか、支援を受け育児や家庭のことに時間を当てるかのどちらかのスタイルになっています。

Oさん そのとおりですね。区とか都を超えて、国レベルで大きく変わっていかないとダメですね。

——この条例をより多くの人に知ってもらい、役立ちてもらいたいと考えているのですが、ご意見はありますか。

Aさん 学生間でこういう話をする機会には正直なところあまりないので、若い世代にももう少し知ってもらえるような広め方が必要だと思います。

Sさん 正直、条例を読むのは骨が折れるなあと感じました。でも自分にとって興味のあることだったり身近な事例が載っていたら、手に取ると思います。



Hさん(10代女性) 大学1年生
海外の「男女共同参画」の現状について興味があり座談会に参加

Mさん 私は性的マイノリティに関するNPO法人の理事でもあり、色々な大学でこうした問題に関する講演も行っていますが、一定の効果が出ています。ですから、区内の大学で、この条例が具体的に自分とどう関係するのか、ということをはパネルなどを使って講演すれば、若者ももっと身近なこととして感じるようになると思います。

Oさん 娘が服飾関係の学校に通っていたころ、「一番の親友がトランスジェンダーでした。服飾関係なので授業で互いに体のサイズを測ることがあり、生徒たちは男子と女子に更衣室も分かれるのですが、ここが学校と彼との壁で、「男性なのだから男子更衣室へ」と言っ先生に、彼はそこには入れない。もつこの授業は受けられないことになって悩んでしまい、リストカットしたこともあったそうです。この条例があれば彼のように悩

世田谷区は、区民・事業者・区が一体となって男女共同参画及び多文化共生を推進することにより、多様性を認め合い、人権を尊重する地域社会を実現することを目指し、この条例を制定しました。

- 区の責務（しなければならないこと）
- 区民・事業者の責務（しなければならないこと）
- 苦情の申立てや意見の伝え方、相談方法

等についても定めています。条例の全文、条例施行規則、解説などは、世田谷区のホームページでもご紹介しています。

『世田谷区多様性を認め合い 男女共同参画と多文化共生を 推進する条例』 ができました 【施行日：平成30(2018)年4月1日】

Pick Up

「多様性を認め合い、
人権が尊重される社会」とは
何ですか？
(条例第1条)

「男は仕事、女は家庭」といった性別役割分担意識や国籍・民族の違いにとらわれず、それぞれが自らの意思で生き方を選択でき、相互に尊敬と生き方を認め合える社会のことです。年齢、性別、国籍、障害の有無などにかかわらず、多様性を認め合う社会を目指します。

区民や事業者は
何をしなければならないのですか？
(条例第5条・第6条)

区の掲げる男女共同参画および多文化共生の理念に理解を深め、区の施策に積極的に協力していただくよう定めています。特に事業者のみなさんには、働くすべての人がそのライフスタイルに応じて多様な生き方を選択できるよう、募集、採用及び昇進など、あらゆる場面で、性別や性自認、性的指向、国籍、民族の違いによる不当な取扱いがないよう配慮し、事実上生じている不当な取扱いについても積極的に改善するようお願いします。

差別する意図のない行為でも、
「不当な差別的取扱い」に
該当することはありますか？
(条例第7条)

直接的であるか間接的であるかを問わず、また、差別の意識のあるなしに関わらず、結果として不当な差別的取扱いになる行為が含まれます。



三軒茶屋の「らぶらす」をご利用ください！



渋谷方面から見た昭和女子大学正門横に「らぶらす」の看板があります。

3F
情報・交流
コーナー



好きな本を読んだり、雑誌を見たり。のんびり過ごせるフリースペースもあります♪個人や少人数の打ち合わせやグループ活動にも！

お子さんと
楽しい時間を！

3F 子どもスペース



お子さんがくつをぬいで過ごせる子どもスペース。約750冊の絵本・児童書をご用意しています。

調べものにも
役立ちます！

3F ライブラリー



約19,000冊の図書資料の閲覧、貸出、らぶらすのホームページからインターネット検索もできます。

お母さんの活動に
便利な保育スペース

5F 子ども室



らぶらすの研修室でグループ・団体活動をする際、お子さんを保育する場所があります！

安心して
赤ちゃんとお出かけ

5F 授乳室



ゆっくり授乳できるスペースがあるので、お出かけの時にも安心！おむつ替えができる多目的トイレもあります♪

世田谷区立男女共同参画センター

らぶらす

開館時間 午前9時～午後10時

休館日 毎月第3月曜日および年末年始

施設概要 研修室、情報・交流コーナー、子ども室、ライブラリー、授乳室 ほか

〒154-0004 東京都世田谷区太子堂1-12-40
グレート王寿ビル3～5階(受付3階)

☎03-6450-8510・FAX03-6450-8511

世田谷区立男女共同参画センターらぶらす [検索](#)

URL <http://www.laplace-setagaya.net>

東急田園都市線・世田谷線「三軒茶屋」駅下車徒歩7分

